

令和3年度第1回山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議結果

1 概要

聴取期間：令和3年8月3日（火）～8月16日（月）

実施方法：会議資料を各委員に郵送の上、【別紙2】質問票により意見を提出

2 出席者（【別紙2】質問票提出者）

- 上大川座長、井上副座長、川島委員、小川委員、大高委員、三橋委員、小山委員、安藤委員、鈴木委員、佐藤委員、堀井委員、新村委員、古作委員、山本委員、小平委員
(計15名)

3 意見等

(1) 地方創生総合戦略の進捗状況について

- 施策3-2に新規要支援・要介護度認定者数が重要と考えるが、本施策に記載しないのか。

(2) 地方創生推進交付金の活用状況について

- 意見等は特になし

(3) その他（全体を通しての意見等）

- 学校教育と生涯学習、人の尊重と交流や健康づくりを大切にしまちづくり、そして環境保全などに対して、特に住民の満足度が高いことが分かる。また、帰郷意識と定着意識をもつ人の割合が高いことが印象的である。こうした強みを生かして市の活性化を図っていただきたい。
- 英語をはじめ教育に力を入れていることが分かるが、山武市の教育の取組で他市町村と比較して優れている点はなにか。人口減少に歯止めをかけるためにも、そうした市の魅力をPRすること。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響でテレワーク等導入企業が増加していることを好機と捉え、移住者増加に向けた市の魅力を発信することが必要ではないか。特にインターネットの活用が有効だと考える。
- 自然環境や空港近接の立地優位性、交通便利性などの魅力を有しているが、成東駅周辺の利便性向上を図ることで、若い世代がさらに魅力を感じてもらえると考える。また、移住者に対する住宅支援が重要だと考える。